

第3学年国語科学習指導案

日 時 平成29年11月8日(水) 5校時
児 童 男子名 女子名 計名
授業者

1 単元名 「わかりやすくせつめいするこつを見つけよう」

教材名 「すがたをかえる大豆」

2 言語活動とその特徴

本単元では、自分が選んだ食べ物についてわかりやすく説明する「書くこと」の学習に向けて、説明的な文章を読んで、説明の仕方を「わかりやすく説明するこつ」としてまとめていく言語活動を設定する。

「わかりやすく説明するこつ」として、読み手が納得するために、複数の事例を挙げること、事例の挙げ方の順序の順序を考えること、そして伝えたいことに応じて題名を工夫することを取り上げる。児童は、説明の仕方を「こつ」としてまとめていくため、必然的に「どんな事例をどのようにあげて説明しているか」に着目して読むことになる。よって、「目的に応じて中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考えて読む力」につながると考える。

3 単元について

(1) 児童について

児童はこれまでに、説明文「こまを楽しもう」の学習を通して、文章全体を、大きく「初め」「中」「終わり」の構成に分けて読むことや、「問い」と「答え」をとらえながら段落に気をつけて読むことを学習してきた。また、大切な言葉や文に注意しながら段落ごとにどのような内容が書かれているのかとらえる学習をしてきた。

これらの学習を通して、児童は、文章全体の構想を踏まえて、「段落」が一定の意味をもつまとまりとして成り立っていることについて理解してきている。しかし、書き手の立場になって、段落と段落のつながりや順序性に着目して読むといった、いわゆる表現の仕方に着目して読む学習はまだ経験していない。

(2) 単元構想及び教材について

本単元では、自分で選んだ食べ物について分かりやすく説明する学習に向けて、「すがたをかえる大豆」を読んで、「わかりやすく説明するこつ」を見つけていく学習を展開していく。「すがたをかえる大豆」は、昔の人の知恵のすばらしさを伝えるために、大豆の調理や加工による複数の食品を紹介して説明している。はじめ」「中」「終わり」の基本的な文章構成となっており、事例についても児童にとっても捉えやすい構成となっている。

大豆をその形のまま煎ったり煮たりする分かりやすい例からはじまり、調理や特殊な加工により見ただけでは原料が大豆と分からない身近な食品が紹介されていくため、児童は新鮮な驚きとともに読んでいくと考えられる。自分の食生活や食文化を見つめ直すことにつながり、食育という観点からも貴重な教材である。

(3) 指導について

本単元では、単元の各段落でグループ交流する場面を設ける。相手の考えを聞くことで、聞き取ったことに対して感想をもったり考えを広めたりすることで学習の意欲付けにつなげたい。また、分かりやすい説明のしかたを整理し、次の教材「食べ物のひみつを教えます」の学習では、説明の工夫を生かして書くことの学習につながるようにする。

第一次では、「筆者は、どんな説明の工夫をしているのだろう。」と予想をさせ、筆者の「説明のしかたを見つけていこう」と課題意識を持たせる。そして、本単元でまとめていく「わかりやすく説明するコツ」が、次単元「食べ物のひみつを教えます」の学習に活用していくことへとつながる見通しをもたせる。

第二次では、文章全体の構成を概観した上で、どんな事例をあげているか、どんな順序で説明しているか、題名とのつながりはどうなっているかという学習過程を通して説明の仕方のコツを児童自身が押さえたいけるよう展開していきたい。

第三次では、児童がまとめてきたコツを振り返らせ、筆者がわかりやすく説明するための工夫について話し合いながら、「わかりやすく説明するコツ」としてまとめていきたい。筆者は、昔の人の知恵を伝えるために分かりやすい内容から複雑な内容によって順序を構成している。説明の工夫が写真の使い方や接続語の果たす役割と関連していることにも触れていきたい。

4 単元の指導目標

- 文章の内容に関心を持ち、文章構成を理解しながら読もうとする。
[国語への関心・意欲・態度]
- ◎ わかりやすく説明するコツをまとめるために、中心となる語や文を捉え、段落相互の関係を考えながら、文章を読むことができる。
[読むことイ]
- わかりやすく説明するコツをまとめることに向けて、文章の要点や細かい点に注意しながら読むことができる。
[読むことエ]
- 文中の語句について、国語辞典を利用して調べることができる。
[伝統的な言語文化と言語文化と国語の特質に関する事項イ(カ)]

5 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・文章の内容に関心を持ち文章構成を意識しながら読もうとしている。	・昔の人の知恵を伝えるために、どのような事例を、どのような順序で挙げて説明しているか、説明の仕方に着目して読み、「わかりやすい説明のコツ」としてまとめている。(イ) ・わかりやすく説明するコツをまとめるために、段落の要点と繰り返し出てくる言葉に着目して読み、題名の意図を考えながら読んでいる。(エ)	・文章中の表現や言葉に注目し、国語辞典を使って調べている。 (イ(カ))

7 本時の指導（4／6）

（1） 本時の目標

筆者が分かりやすく説明するために考えた事例の順序の意図を考えることができる。

（読むことイ）

（2） 本時の指導にあたって

視点1 「発問・指示」…筆者は、なぜこのような順序にしたのかを考えることができるようにする。

視点2 「振り返り」…筆者が考えた段落の順序について、自分が考えた理由とみんなで話し合った後、考えたことを振り返るようにする。

（3） 本時の展開

	主な学習活動	主な発問（主◎，補助○） 指示（・）	指導上の留意点（・） 評価（◇）
5	1 本時の学習課題を把握する。 2 課題を確かめる。	○この順序で考えると説明が分かりやすいですね。	・本文と違う段落の順序の紙板書を提示して、理由を考えさせる。
	<わかりやすくせつめいするコツ②> 「大豆をおいしく食べる工夫」について、国分さんは、なぜこの順じよでせつめいしているのだろう。		
			・中心となる文は、短くまとまっている文であることを紹介する。
19	3 自分の考えを書く。 4 段落の順序の考えを交流してまとめる。 ・グループで交流する	○筆者は、どんなことを考えてこの順序にしたのか理由を明らかにして考えましょう。 ◎筆者は、どんなことを考えてこの順序にしたのか、手のかけ方に気つけて理由も考えましょう。	・どのように工夫したかを考えてカードを並べる。（視覚的に分かるようにする） ・考えた理由や相違点をグループの人に気づかせる。 ・グループと全体で交流することを確認する。 ◇説明の工夫について、大豆の調理の仕方に着目して順序を考えることができたか。 ・筆者の説明の工夫（大事な言葉）に着目して、具体例の順序を自分の言葉でまとめさせる。 ・段落が進むごとに、大豆の調理の仕方は簡単なものから難しいものへと変わっていることを理解している。
	【交流】 手間のかけ方に着目させる。 ねらい…くふうに着目して、分けた順序を考えさせる。 形態…3～4人グループ 進め方…進行する人を決める。 広げ方…「時間や期間」を考えさせる。		◇ [読み] 理由を入れて、段落の順序を考えることができたか。（昔の人の知恵のことに触れる。） 【配慮の必要な児童への支援】 昔の人は、どの順序で考えて作ったと思うかという視点で考えさせる。

15	5 全体で交流し、整理してまとめる。	◎筆者は、なぜ、この順序で説明したのかまとめましょう。	・筆者の事例の順序の意図について考えることを通して、分かりやすい説明の仕方の書き方を理解している。
5	6 振り返りを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者がどのようなことを考えて、この順序で説明したのかを知り、学んだことを書きましょう。 ・筆者の考えた順序についての自分の考えを書きましょう。 ・自分が例をあげて説明文を書くとき、どのようにしたいかを書きましよう。 	
1	7 次時の学習内容を確認する。		

8 板書計画

<p>（ふり返し）</p> <p>昔の人々が大豆のよいところに気づいた順序にしたから。昔の人が、食事に取り入れた順序だから。</p>	<p>（まとめ）</p> <p>作るのにかんたんなものから、時間をかけて作るものから。</p> <p>かんたんに作れるものゝ作り方がむずかしいもの。時間がかからないものから時間がかかるもの。</p> <p>（確かめ）</p> <p>かんたんに作れるものから、時間をかけて作る順序。</p> <p>（よそう）</p> <p>かんたんに作れるものから、時間をかけて作る順序。</p> <p>（終わり）</p> <p>⑧いろいろなすがたで食べられている。</p> <p>*食事に取り入れてきた昔の人々のちえにおどろく。</p>	<p>（はじめ）</p> <p>昔からいろいろ手をくわえて、おいしく食べるくふうをしてきた。</p> <p>（中）</p> <p>③大豆をその形のままいたり、にたりする。</p> <p>④こなにひいて食べる。</p> <p>⑤えいようだけを取り出して、ちがう食品にする。</p> <p>⑥小さな生物の力でちがう食品にする。</p> <p>⑦取り入れ時期や育て方をかえて食べる。</p>	<p>わかりやすくせつめいすることを見つけよう</p> <p>すがたをかえる大豆</p> <p>国分 牧衛</p> <p>かだい</p> <p>「大豆をおいしく食べる工夫」について、国分さんは、なぜ、この順序にしたのかを考えよう。</p>
--	--	--	---

6 単元の指導計画（全6時間扱い）

【指導目標】 ○文章の内容に関心をもち、文章の構成を理解しながら読もうとする。 [国語への関心・意欲・態度] ◎わかりやすく説明するコツをまとめるために、中心となる語や文を捉え、段落相互の関係を考えながら、文章を読むことができる。 [読(1)イ] ○わかりやすく説明するコツをまとめることに向けて、文章の要点や細かい点に注意したりしながら読むことができる。 [読(1)エ] ・文中の語句について、国語辞典を利用して調べることができる。 [伝国(1)イ(カ)]	展 開	第1次 単元の導入		第2次 単元の展開			第3次 単元のまとめ
		1	2	3	4 (本時)	5	6
	目標 [指導事項]	単元の学習の見通しをもち、説明の工夫に関心をもちながら読むことができる。 [関心・意欲・態度]	文章全体の組み立てを捉えて、「はじめ」と「終わり」の内容を確認することができる。 [読(1)イ]	昔の人の知恵をつたえるためにどんな例をあげているのか中心となる文をとらえて読むことができる。 [読(1)イ]	筆者が分かりやすく説明するために考えた事例の順序の意図について考えることができる。 [読(1)イ]	段落の要点と繰り返し出てくる言葉に着目して読み、題名の意図を考えながら読むことができる。 [読(1)エ] [伝国(1)イ(カ)]	筆者の説明の工夫についてまとめる。 [関心・意欲・態度] [伝国(1)イ(カ)]
	学習課題	筆者は、どんな説明の工夫をしているのでしょうか。	筆者は、何を伝えたかったのでしょうか。そのために、どんな例をあげているのでしょうか。	大豆をおいしく食べるためにどんな工夫をしているのか、中心となる文に気をつけて読もう。(③～⑦)	「大豆をおいしく食べる工夫」について、筆者は、なぜこの順序にしたのかを考えよう。	筆者は、昔の人々をどのように思っているのでしょうか。	読み手に分かりやすいように、説明には、どんな工夫をしているのでしょうか。
	本時の展開 (主な発問・指示)	1 筆者は、どんなことを伝えたかったのでしょうか 2 課題を確かめます。 3 単元の最後には、説明の工夫を話し合い、他の食べ物の本についての説明の工夫についても交流していきましょう。 4 「すがたをかえる大豆」を読み、感想を書きましょう。 5 感想を交流しましょう。	1 「はじめ」と「終わり」にどんなことが書かれているのでしょうか。 2 課題を確かめます。 3 何を伝えたかったのでしょうか。①②段落では、大事な言葉や中心となる文は、何でしょうか。 4 「終わり」の中心となる文は、何でしょうか。	1 おいしく食べるには、工夫が必要なのですね。 2 課題を確かめます。 3 段落ごとに中心となる文を考えて、おいしく食べる工夫を讀んでいきましょう。 4 ③～⑦段落の中心となる文を考えて、おいしく食べる工夫を考えましょう。	1 この順序で考えると説明が分かりやすいですね。 2 課題を確かめます。 3 筆者は、どんなことを考えてこの順番にしたのか理由を明らかにして考えましょう。 4 筆者は、どんなことを考えてこの順序にしたのか、手のかけ方に気をつけて理由も考えましょう。 5 どんな考え方・見方をしたのかをまとめましょう。	1 昔の人の考えや筆者が感じていることを考えていきましょう。 2 課題を確かめます。 3 大豆を食事に取り入れてきた昔の人の考えを筆者は、どのように思っているのでしょうか。 4 筆者の感じ方をまとめましょう。 5 題名とつながりのある言葉を考え、筆者の考えを読みましょう。	1 「すがたをかえる大豆」の説明で工夫を話し合っていきます。 2 課題を確かめます。 3 写真の使い方について考えましょう。 4 順序を表す言葉(接続語の果たす役割)にはどんなものがありますか。 5 説明の工夫をまとめましょう。
		交流のねらい (形態)	「どんな説明の工夫をしているか」の考えを交流し、多様な考えに気づく。 <ペア→全体>	「初め」「終わり」の内容を交流し、多様な考えに気づく。 <グループ→全体>	③～⑦に対する中心文を交流し、理由を聞き合いながら多様な考えに気づく。 <グループ→全体>	形、時間、時期的なことなど多様な考えに気づく。 <グループ→全体>	一人一人の考えに気づく。 <一人→全体>
	【指導方法の工夫】 【焦点化】 ・「中」を中心として説明文の読み取りをする。 ・大事な語句や順序を表す言葉に着目できるように、紙板書やセンテンスカードを使用する。 【視覚化】 ○本文の内容が理解できるよう、写真や実物を提示する。 ・図の形を統一して比較しやすいようにする。 【交流】 ○全員が参加できるように、ペア・グループ学習の時間を設定する。 ・考えを共有するため、根拠をはっきりさせて話し合う。						
	【単元を貫く言語活動】 「わかりやすく説明するコツ」を見つけてながら読む。 ※参考 [読 言語活動例(イ)]						
	【図書資料】 ・『たべもの』 フレール館：三浦理代監修 ・『すがたをかえる米・麦』 学研教育出版：幕内秀夫 ・『いわし おいしく食べる知恵』 農山漁村文化協会：おくむら あやお	6 友達の考えを聞いて、思ったことや同じところや違うところなどを書きましょう。	5 「初め」と「終わり」の中心となる文を考え、友達の考えを聞いて参考になったことを書きましょう。	5 大事な言葉を入れてまとめましょう。 6 友達の意見を聞いて同じところ・違うところの感想を書きましょう。	6 筆者がどのようなことを考えて、この順序で説明したのかを知り、学んだことを書きましょう。	6 昔の人の考えと筆者の伝えたいことを知り、学んだことを書きましょう。	6 説明の工夫をまとめて、生かして(使って)いきたいことを書きましょう。